
2006年度冬学期 第9回 物性セミナー

差分系のソリトンとその量子化について

講師 白石 潤一 氏 (東大数理)

日時 2007年1月19日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

マクドナルド対称多項式の理論は、もっとも良く理解されている量子化ソリトン理論であろう。しかし、その古典極限についてはあまり調べられていない。

マクドナルド理論を拡張することで、量子化および差分化されたKdV方程式を含む量子可積分系のあるクラスが得られる。しかし、その波動関数を調べることは困難な未解決問題である。

ソリトンの量子論をより良く理解するために、拡張されたマクドナルド理論の古典極限においてその特殊解を調べる。

今後の予定

今回で今年度分は終了です。

物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人：加藤雄介
福島孝治
簀口友紀
堺 和光